

南米コロンビアで日食を見る人のために

鈴木 治夫

'96年10月にコロンビアの知人を訪れる機会があり、そのついでに1988年2月26日の日食帯のほぼ中心線が通るコロンビア北部の町、MONTERÍA（モンテリーア市）の下見をしてきました。

以下にそこへの生き方と現地の様子などを見てきた感じのままお伝えします。

【行き方】

先ずコロンビア北部カリブ海に面した観光都市 Cartagena（カルタヘナ）市へ飛びます。ロスアンゼルスやメキシコシティからサンタフェ・デ・ボゴタ乗り継ぎのカルタヘナ行きやマイアミ発のカルタヘナ行き直行便（アビアンカ航空）他、中米経由もあるようです。

カルタヘナから目的のモンテリーアまでは民営バスで5時間の距離です。具体的にはカルタヘナ市のボカグランデ地区の縦に長い道のうち Carrera 3へ出て、TERMINAL 行きのバスをつかまえます。バスは普通の観光バス型で緑の字で大きく TERMINAL と書かれた白地に緑の帯の入ったバスで、他のいろんなバスと区別できます。バスが現れたら手をあげて停めて乗り込めば、美人のバスガールが料金 520 ペソをとりに来ます。

バスターミナル（TERMINAL DE TRANSPORTES）までは市内から約 50 分かかります。2～3年前まではカルタヘナの旧市街から歩いて 20 分の所にあったのですが、今はガラクタ市場になっていますから歩いて行こうなどとししないで下さい。

バスターミナルはモダンな建物で、数社のバス会社が入っていて各地との路線をもっています。また食べ物やなども入っていますので、時間待ちにちょっと寄るのもいいでしょう。

肝心のモンテリーア行きは Brasilia（ブラジリア）社が1時間に1本ぐらい出ていると思います。EXPRESO BRASILIA S.A の看板を見つけて下さい。モンテリーアまで片道 12,600 ペソです。

できれば前日に切符を買っておくのが確実で、当日もし早くターミナルに着いたときなど空席があれば一台早いバスへの変更もできます。座席は自由席。途中の道路も快適です。

【ホテル】

モンテリーア市の五つ星ホテルは SINÚ ホテルで、到着したブラジリア社のバスターミナルからタクシーで5分（1,200 ペソ）で行けます。

ホテルはシングル 92,000 ペソ、ダブル 108,000 ペソ。グループで 10 室以上使うと 30%の割引をすると言っていました。でもコロンビアでは毎年平均 20%のインフレが進行中なので、上記の値段も上がりそうですが、US ドルとコロンビアペソの交換率もペソ安となるため、ざっと US100 ドル前後と考えておけばいいと思います。ちなみに'96年10月のレートは US 1 ドル ≒ 1,000 コロンビアペソでした。

安いホテルも数件あり、予算相当のサービスが受けられます。タクシーのドライバーがよく知っていますので連れていってもらおうのもいいでしょう。

〔食事〕

ホテルのレストランでもよし、町の中には屋台も含め小食堂風の店もあり、市場もあり、コロンビア地元の味が楽しめます。そして安い。ビールも安い。ただし全てスペイン語表記です。

〔観測地〕

ホテルのプールサイドや近くの小広場などから見るという人はそれでもいいでしょうが、ちゃんとした広場となると町からタクシーで5分(2,000ペソ)の所の Villa Olimpica (ビジャ・オリムピカ) という市民総合運動場がいいでしょう。ソフトボール用球場や草の生えたサッカー場が3面あります。

〔警備〕

現地の人には東洋人の顔は珍しいらしく、私も至る所で視線を感じてきました。まして高価な観測機材持参となればその好奇心はさらに高まると予想されます。しかしその反面、私が行った時点ですでに日食のことを知っている人もいましたから、もしこの町へ多くの観測隊が各国から来るとなれば、政府も警察も動いてくれるかもしれませんね。でも少数での観測となった場合は、現地の警察署(ホテルからすぐの所)へ事前に依頼しておくのも一手段だと考えられます。署長さんは依頼に応じると言っていました。

〔治安〕

行く前から一番気になっていたのは治安でしたが、全般的に見て似たりよったりで、特に危険を感じたこともなく、日本で言われている恐ろしさよりむしろ人々の親切さに親しみを感じました。カルタヘナ市は岬のように突き出た観光地のボカグランデと、スペイン植民地時代の姿を残す旧市街がありますが、旧市街の一部は軽犯罪多発地帯とのことでしたが、ボカグランデ地区は女性の夜の一人歩きも大丈夫くらいの所でした。でも至る所に物売りがいて、その連中につきまとわれることもあります。でも連中は楽しい人たちで、「ノー・グラシアス」とソフトに断ればそれですみます。

観測地にと考えたモンテリーア市の方は、警察署長さんのお話では、この町は静かで平和とのことで、凶悪犯罪は起きていないとか。でもこそ泥のたぐいはやはりあるとのことでした。ここは麻薬組織の暗躍する山岳部でもなく、普通の用心……大金・貴重品を持ち歩かない、持ち物から目を離さない……をしていれば大丈夫との印象を受けました。

人々は私の片言のスペイン語にも親切で、人情味を感じました。

〔電話〕

ホテルからも掛けられますが、TELECOM という電話局が町にあり、日本へは1分間 2,910

ペソ、夜8時以降は20%OFFとなります。(90-81のあと、0を取った市外局番+番号)

[気候]

2～3月は特に乾期で雨はほとんどなしと好条件です。ただ気温は40℃ぐらいになる日もあるとか。私が行った10月ではちょうど雨期明けとのことで、それでも日中は36℃になっていました。日射も強くこの点もご用心。

[日食情報]

アメリカNASAの資料によると、モンテリーア市では皆既継続は約3分50秒、第2接触は現地時刻の12時50分頃、太陽高度は約70度というものです。

以上ですが、説明不十分な点も多いと思っています。不明な点で私が補足できるものもあるかもしれません。

参考： HOTEL SINU

住所 Cra 3a 31-32 Montería-Cordoba Colombia
(Conmutador 823355 Fax - 823980)

Santafé de Bogotá 市での予約センター

住所 Calle 75, No6-62 Santafé de Bogotá Colombia
Hotel SINÚ Reservas 宛

編集部註：

NASAによる98年2月26日の皆既日食データは、8月発行予定の「日食情報No3」に掲載する予定です。